

專攻紹介



教育学専攻

Staff

舩越 勝 (ふなごし・まさる) 生活指導・臨床教育学
越野章史 (こしの・しょうじ) 教育思想史
二宮衆一 (にのみや・しゅういち) 教育課程論
谷口知美 (たにぐち・ともみ) 教育評価論

〈教育学〉って どんな学問？

—教育学の対象—

教科や校種のちがいを超えて、「教育」そのものをズバリ対象にするのが教育学です。
学校はもちろん、家庭教育や社会での教育（社会教育）についても扱います。
教育の歴史や教育をめぐる思想、教育と社会、教育と政治の関わりについても扱います。
子ども理解、授業の方法、教育課程のあり方、評価のあり方、学級づくりや生活指導について、不登校やいじめ、学校の荒れ、といった様々な〈教育問題〉についても扱います。

—教育学の方法—

方法も様々です。文献を中心にした理論研究や歴史研究、海外との比較研究、量的・質的データを用いた社会学的なアプローチ、現場との往還を大切にするフィールドワーク的手法など、多様な方法を駆使して、〈教育〉にアプローチします。

和歌山大学の教育学専攻の特色

学生さん自身、一人ひとりの問題意識（知りたいこと、考えたいこと）を大切にします。
指導教員との関係だけではなく、複数の教員と関わり、多様な視点からの刺戟を得ながら、自分の考えたいテーマを追究することができます。
学生同士の学び合い、議論を通した学びを大切にしています。
学生・教員とも活発に交流のある、雰囲気の良い専攻です。

4年間のイメージ

教育学専攻のスタッフは、一年生から受講できる講義を多く担当していますので、ぜひ受講してみても、その魅力を感じとって下さい（一般教養、教職共通科目など）。

教育学専攻を選ぶと、2年時には「教育学基礎演習」(I, II)を前期・後期とも履修してもらいます。そこでさらに教育学の詳しい中身や各教員の専門性について理解を深めて下さい。

2年時からは多彩な「専攻専門」科目が履修できます。皆さんそれぞれの問題意識や興味関心に沿って、履修する科目を選んで下さい。

そして4年時、それまでに学んだ蓄積を発揮して、本当に自分が知りたいこと、考えたいことについて、「卒業論文」を執筆してもらいます。

実り多い学びを、皆さんとともに。ぜひ、教育学専攻においで下さい。



心理学専攻



【1】心理学を専攻するには？

心理学専攻では、教員免許の教科よりも、人間のこころのメカニズムに焦点を当て、学校教育における教師・児童・生徒の心理、行動の解明を通して教育に生かすことができます。また、児童・生徒・教師が抱える心の問題への支援、発達障害等のアセスメントと支援等、さまざまな専門的かかわりが可能となります。

心理学専攻の受け入れ人数は、専攻決定時に改めて呈示しますが、専攻決定にあたっては何らかの選考をしますから、しっかり学習計画を立てて、まじめに学習をしてください。専攻生として正式に認められるのは2年生からですが、教官の指導のもとで研究室の図書や実験器具を使用して、1年生でもすぐに心理学の学習や研究が始められるように配慮しています。これまでも1年生のうちから心理学研究室に出入りして楽しく過ごしている学生も少なくありません。ぜひ、積極的に学習してください。

【2】どんな勉強をすればよいか（必修科目と履修モデル）

心理学教室では、1・2年生向けの入門講座を充実させ、どんな人でも心理学を楽しんで学習できるように配慮しています。こうした授業に参加して、心理学のおもしろさを体験してほしいと思います。心理学関係科目は教職科目としても、また教科に関する専門教育科目としても活用できるものがあります。また、所定の単位を取得すると、心理学の専門家としての資格を取得することができます。ぜひ、意欲的に履修してください。

【3】心理学専攻の紹介（卒業ゼミ選択のために）

心理学専攻には次の2名の専任教員がいます。学習支援心理学・臨床発達心理学・人間関係支援が専門の米澤好史教授、青年心理学・臨床心理学が専門の則定百合子准教授の2名です。それぞれ、卒論の指導教員として主に1名の教員の指導のもとに研究していますが、他の教員によっても丁寧な指導が行われています。専門の講義は、卒論作成に向けて、実験演習を中心にした様々な授業を通じて無理なく知識や技術を習得できるように配慮されています。

心理学は対象が人間である以上、複雑でかつ多様にわたり、その題材は日常生活内に散在しています。従って、心理学は、自分ひとりで書物を読みながら研究する学問ではありません。まず「大学に出てくること」が大切です。そして興味ある現象について「共に考える」ことが有益なのです。情報交換にしても、実験調査の準備にしても協力が大切になってきます。そんな意味で、心理学教室では教員と学生のふれあい、学生同士のふれあいを大切に考え、施設面、行事面で様々な工夫をしています。「人間について楽しく学べる」配慮が盛り沢山なのが、心理学教室の特徴といえます。一緒に心理学を通して人間のおもしろさ、不思議さを体験しましょう。

【4】心理学ってどんな学問？

心理学ではどんなことをやるのでしょうか。メディアを通じて心理学に関心を持っている人も多いでしょうが、本学に入学して心理学が専攻できることを知らなかった人も多いかも知れません。心理学は高校までは、ほとんど学習しなかった未知の学問ですし、誤ったイメージや印象を持っている人も少なくないでしょう。心理学は、今から100年くらい前に独立誕生した新しい学問で、実験法・観察法・調査法・検査法・面接法などの研究方法を用いて、「人間の心の働き」を実証的に理解しようとする学問です。そして人間を理解するとは、その理解の方法をhow to式に習得するのではなく、その意味をじっくり考えることなのです。詳しくは「心理学概論」

「心理学総論」「心理学入門ゼミナール」で概説しますが、ここではその一端を紹介してみましよう。

心理学の研究対象は、人間の心の働きと一口に言っても、非常に範囲が広く、複雑でもあります。人間が、「どのようにモノを見たり聞いたりしているのか、なぜわかるのか（知覚・認知）」「音楽の知覚の特徴とその効用」「いろんな知識をどのように獲得して利用するのか（学習・記憶・思考）」「生まれてから死ぬまでに何がどのように変化していくのか（発達）」「自分っていったい何だろう、個性って何なのか（人格・知能）」「モノや人に対する感情や印象はどんなふうになるのか、集団の中で人はどんなふうになるのか（社会）」「心の悩みや病をどのように理解したらいいのか（臨床）」「教育における教授法・学習支援法（教育）」「こどもの理解とその評価（教育）」「不登校・いじめ等の生徒指導・教育相談」「発達障害児のアセスメントと支援」「愛着障害への支援」など数え上げたらきりがありません。心理学の歴史は浅いですが、研究対象も方法も自由で、それだけにいろんな分野に応用されているのです。したがって、複雑化しているこれからの社会において、極めて有益で将来性の豊かな学問と言えるでしょう。

心理学を学ぶ人は、自己理解や人間関係理解を含めた総合的人間理解の方法を学習でき、人生を生きていく上で貴重な知識と体験が得られ、人間社会・人間生活を見つめる眼を養うことができます。将来、教職につく人にはもちろん、心理学関係の専門職につく人にも大切な学習機会となることは言うまでもありません。大学生活をこうした経験で彩ることは、皆さんの財産となるはずでしょう。ぜひ、心理学の世界に足を踏み入れてください。

<特別支援教育>

1. 理論も実践も両方学べる！

◆ポイント1！特別支援教育を学ぶこと＝教員として必要な資質を身につけること！

教育で大切なのは、すべての子どもたちの学習権保障を目指すこと。教育的に支援を必要とする児童生徒は、特別支援学校にだけ在籍してはおりません。教師は誰でも、いつか必ずそうした子どもと出会い、指導する機会があるはず。特別支援教育に関する知識と技術は、本来、すべての教師に必要なものです。

また、発達に遅れや障害のある子どもの教育は、必ずしも特別な技術ではなく、「より注意深く子どもを理解し、ひとりひとりの子どもの発達に応じて支援する技術」であり、また「多様な個性をもった人間が共生して社会をつくる理論と実践」であると言えます。したがって、特別支援教育を学ぶことは、どのような子どもの支援にも有用であり、将来、特別支援学校の教員以外の職場に進んでも大いに役立つことばかりです。

学校・施設・病院といった指導の現場では、多様な子どもの問題や病理を理解し、適切に対応するため、より高度な専門性を要求されます。そこで、特別支援教育学の専攻生は、①特別支援教育学、②特別支援心理学、③特別支援医学、④特別支援臨床学など、幅広い分野の知識と理論を学ぶこととなります。

進路：主に特別支援学校、小学校、中学校の教員です。大学院進学、公務員、福祉職員になる人もいます。

◆ポイント2！特別支援教育の専攻生は、自動的に2つの教員免許を取得！

特別支援教育学の専攻生は、小学校教諭ないし中学校教諭の1種免許状（基礎免許状といひます）に加えて、特別支援学校教諭1種免許状を取得！（2つ取得が卒業要件）

→通常の教師としての資質＋発達の遅れや障害などにより特別な教育的ニーズをもつ子どもの指導者として専門性を身につけることが4年間での学びの目標！加えて、障害を社会的な意味（その人を取り巻く環境の問題）としても理解し、学校教育や家庭、地域社会のあり方、学校卒業後の社会的サポートのあり方などについても学ぶことができます。

2. 多様な側面から特別支援教育を探究する、個性あふれる教員！

- ◆江田 裕介 特別支援教育に関する臨床学
→コミュニケーション障害の理解と指導法、支援技術の開発
- ◆武田 鉄郎 特別支援教育に関する心理学
専門分野（難病や障害のある子どもと家族の心理的支援）
- ◆山崎 由可里 特別支援教育に関する教育学
→特別支援教育の歴史、制度、キャリア教育、社会的サポート
- ◆古井 克憲 社会福祉学、特別支援教育
→障害者福祉、知的障害者の地域生活支援
- ◆竹澤 大史 特別支援教育に関する心理学
→知的障害、発達障害のある子どもの発達支援、家族支援

国際学会（ハノイ）にて、教員・院生みんなで発表しました。



3. 学年を超えて交流するアットホームな教室！

学年やゼミ、国境も超えた「ファミリー」な教室です。新歓・ソフトボール大会・新年会・追ひコンなど楽しい企画もいっぱい！

4. 実践的な授業＝障害児指導法1.について

- *一年間を通じて、障害のある子どものケースを個別に担当し、個別指導および小グループ指導を実践します
- *大学教員と附属特別支援学校教員から助言を受けながら、学生による自主的な教育計画とカンファレンスによる情報交換、討議によって授業を進めていきます
- *障害のある子ども（特に知的障害あるいは知的障害を伴う広汎性発達障害のある）と、どのように関係を築き、コミュニケーションをとるか、また、子どもの障害や発達の個人差に応じて指導をどのように工夫し、教育課程を編成すればよいか等、実践を通じて学習します
- *特別支援学校教員免許に必要な授業であり、1回生での受講をすすめています。

多様なニーズをもつ子どもたちへの理解を深める学習をします。

不注意

ものごとに集中できず、忘れ物が多い



多動性

落ち着きがなく、じっとしていることができない



衝動性

思いついた行動を衝動にとり、順番待ちができない



国語専攻

はじめまして！

私たちの専攻ではその名の通り、国語科についての勉強をしています。国語科とは、小学校でも最重要といえるほどの位置にあり、中学校・高校ではより高度な現代文や古典を扱う科目です。つまり、どの校種の先生でも必ず深くかわる必要がある科目ということなのです。

そしてこの専攻は、初等教育コース・中等教育コースのどちららを選択した人でも所属可能です。中・高の国語科教員を目指す人は教科の専門性を高めるためにももちろん有効ですが、小学校の教員を目指す人でも所属する価値が十分にあります。

活動について

専攻全体では、年に二回ほど有志を募って、「百人一首かるた大会」を開催しています。小学生から高校生まで多くの子どもたちが来てくれるので、子どもたちとかかわりながら学んだことを活かせる貴重な場です。さらに、春には古典ゼミを中心として、卒業した先輩方も一緒に、先生の解説付きで各所をめぐる古典探訪というイベントもあります。

国語資料室

普段はここできざやかに雑談したり、一緒に勉強したり、ゼミの発表準備をしたりしています。勉強用のテキストや資料がたくさん置いてあります。また、先生方や先輩・後輩と交流できる場でもあります。同期はもちろん、先輩・後輩と共に学び、高め合うことができる関係を築くことができます。

進路

教員採用試験の突破率はかなり高い実績を誇っています。小学校や中学校、さらには高校にも現役で採用された先輩方がいらつしやいます。現役でなくとも、数年以内にはほとんどの方が採用されています。

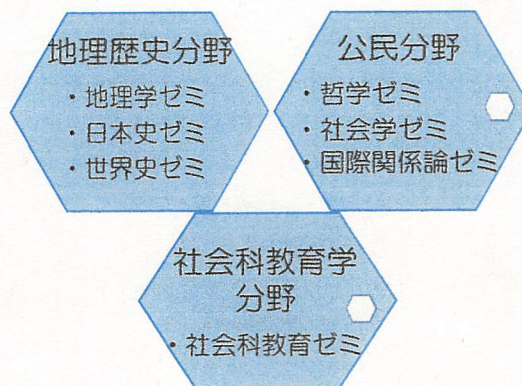
また、教員だけでなく、公務員や一般企業への就職も可能です。教員でなくとも、何らかの形で子どもや国語に関わる進路をとる人が多いです。



ようこそ！社会科教育専攻へ！

ヒトとヒトが、そして、ヒトビトと様々な制度や慣習やモノたちが、相互に関わり合いながら活動し暮らしている全ての場所に、「社会」は成立しています。社会科教師になるためには、まず、「社会」について学ばなければなりません。社会の成り立ちや仕組み、そして問題点を知り、その将来について考えるとともに、今までの社会常識にとらわれず、新たな常識を生み出すための方法を知ることであります。この幅広い「社会科」に対応するために、社会科教育専攻ではジャンル横断的に、様々な学問分野の科目を学びます。

社会科教育専攻は、地理歴史・公民・社会科教育学の三大分野に分かれ、それらはさらに、右のような7つの専門分野の「ゼミ」に分かれています。3回生になる前に、いずれかのゼミを選択することになります（理科系の学生は、地理学ゼミと哲学ゼミのみ選択できます）。



社会科教育専攻の教育目標

社会専攻では、「中学校の社会科教師」、あるいは、「社会科に強い小学校教師」として、社会の諸現象に対する深い理解と専門的知識を兼ね備え、かつ実践力を有する人材を養成したいと考えています。そのため、法令で定められた基準を満たすだけでなく、具体的な科目の内容とその構成に工夫をこらしています。また、高等学校の地理歴史科及び公民科についても、取得希望者に対しては、十分な能力を養い、免許を取得できるよう工夫しています。

社会科教育専攻の科目群

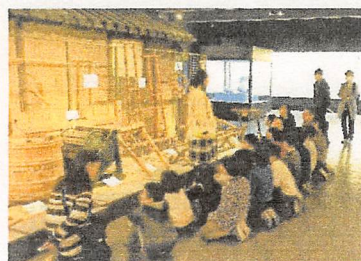
社会科教育専攻の科目群は、①教育実践に関わる教育内容と教育方法を扱う科目群、および、②社会科の教育に関わる教師として必要な知識や教養など、教科の内容を扱う科目群、の二種類に分かれます。どの科目が必修になるかは、所属するコースやプログラム、卒業要件となる免許状の種類、および、それ以外に取得を希望する免許状の種類、によって異なります。

【科目紹介】

○ 郷土学習の理論と歴史

(初等教育コース)

小学校社会科における「身近な地域や市区町村」や「自分たちの都道府県」の学習を、明治前期にまで遡る《郷土学習》の系譜に位置付け、現代の小学校における郷土学習の実際を体験しつつ学びます。地域博物館の見学や小学校の授業見学も行っています。



○ 社会科地理歴史分野学習内容構成論

(中等教育コース)

附属中学校と共同でフィールドワークを実施し、歴史や地理についての生きた教材を生徒たちに伝えます。学生たちが主体となって調べ学習を行い、中学生に歴史や地理の醍醐味が伝わるように内容・方法を工夫しています。



算数・数学科教育専攻

担当教員 川上 智博 (幾何学) 北山 秀隆 (代数学)
田川 裕之 (代数学) 西山 尚志 (解析学)

$$e^{\pi} \times i = 0$$

i 算数・数学科教育専攻とは i

算数・数学科教育専攻では、数理的なものの見方と論理的な思考力を備えた学校教員の養成を目指しています。数学が好きでより深く学んでみたい皆さん、将来教師として活躍するために、算数・数学力を鍛えたい皆さんが、仲間に加わってくれることを楽しみにしています。一緒に数学の魅力を感じましょう。

e 算数・数学科教育専攻での学び e

算数・数学科教育専攻生は、次のプログラムのどれか一つを選択し所属します。なお算数・数学科教育専攻に所属することができるのは、入試区分で理科系に該当する学生です。

初等教育コース (算数科教育専攻)		中等教育コース (数学科教育専攻)
初等教育 EX プログラム	小中連携プログラム	中等教育 EX プログラム
小学校に専門性を持った教員を目指すプログラムです。	小学校と中学校の連携の視野を持った教員を目指すプログラムです。	教科の専門性を深め、中学校・高等学校の教員を目指すプログラムです。
専攻専門: 算数などの小学校教科や幼児教育について学ぶ科目を中心に選択します。	専攻専門: 中学校教諭(数学)の免許状取得に必要な科目も選択することができます。	専攻専門: 数学をより深く学ぶ科目を中心に選択します。
卒業に必要な教員免許状: 小学校教諭1種免許状	卒業に必要な教員免許状: 小学校教諭1種免許状	卒業に必要な教員免許状: 中学校教諭1種免許状(数学)

4年間を通した一貫性のある学習を行うために、算数・数学科教育専攻を希望する学生に対しては、1年次に「微分積分Ⅰ」、「微分積分Ⅱ」、「線形代数Ⅰ」、「線形代数Ⅱ」、「幾何学入門」の履修を推奨しています。2年次の専攻所属以降は、これらの科目を基礎として専門性のより高い科目を履修し、3年次からゼミ所属します。4年次には、ゼミで学習したことを中心として卒業論文を執筆し、発表を行います。

π ゼミについて π

3年生から始まるゼミでは、セミナー形式で各教員のもと数学の専門書を輪講するなどの活動に取り組みます。最初は準備等が大変に感じるかもしれませんが、少人数のゼミでの2年間の学びや卒業論文の作成を通じて、卒業時には数学を理解する力が付いたことを実感できると思います。

科学教育専攻の紹介

新入生の皆さんこんにちは

自然科学を理解するために総合的な視野と、深い専門知識を持ち、教育実践力を持った理系教員を目指します。この科学教育では主に物理学、化学、生物学、地学の4分野を深く学べるような講義、実験、野外実習等、広範なカリキュラムを開設しています。さらに理科を教えるための基礎的なトレーニングをしています。これらを学ぶことによって科学系教員としての必要な資質と能力を磨きます。理科教員はどの分野でも教えなくてはなりません。苦手意識を減らして学習していきましょう。

初等教育コース

初等教育コースにおいては、小学校や中学校で教える理科について広く学ぶことができます。特に小学校から中学校における理科を指導要領に沿って、系統だった学習を関連付けて学びます。理科の模擬授業などを行うことで、実践的に理科を教えることを学びます。実験や野外観察などでの注意点など、ていねいに教えていきます。

中等教育コース

中等教育コースにおいては、中学校の理科教員を目指すコースです。自然科学としての理科だけでなく、科学・技術としての「ものづくり」についても関心に応じて学ぶことができます。

科学教育専攻には1年次の最後に決めてもらい、2年時の最後にそれぞれの4分野の研究室にわかれていきます。3年時に専門のゼミの指導を受けて、4年時には卒業研究を行います。

1年時	後半	科学教育専攻を選ぶ
2年時	後半1月頃	分野、志望ゼミを選ぶ(正式には4月から)
3年時		分野、ゼミで指導を受ける
4年時	卒業研究	卒論発表会

※ 3年時の専門ゼミ希望者に人数の偏りが大きい場合には、面接などで調整する場合があります。

※ 科学教育専攻の教員は、技術の免許科目を提供しているため、取得する学生もいます。

各分野を一言で紹介すると

物理学教室

巨視的および微視的な現象を支配する根本法則を明らかにする自然科学

化学教室

無機化学や有機化学にわかれ、物質の基本を学びます

生物学教室

動物や植物を室内や野外で学ぶことができます

地学教室

地面の地質や空には気象・天文分野と幅広い分野です

※ 気軽に各教員の研究室に話を聞きに行ってみてください。



音楽科教育専攻



♪ 音楽科教育専攻とは♪

音楽科教育専攻は音楽にかかわる実技と理論を学ぶ領域の総称です。ここでは、**鍵盤楽器(ピアノやチェンバロ)**、**声楽(独唱・合唱)**、**管・打楽器**、**指揮法**、**日本音楽(能楽や箏 etc.)**などの実技系の専門科目の他、**楽典や音楽の歴史などの音楽学関係の科目**、**子どもの発達と音楽**、**学校における音楽教育**について学ぶ**音楽教育学関係の科目**など、**理論系の専門科目**を学びます。音楽科教育専攻は、初等教育コースの①初等教育エキスパートプログラム、②小中連携プログラム、中等教育コース(=③中等教育エキスパートプログラム)の中で選択することができます。なお、音楽科教育専攻では3回生からゼミに所属してより専門的に学びます。**ゼミは、鍵盤楽器ゼミ、声楽ゼミ、管・打楽器ゼミ、音楽教育学ゼミの4つ**です。

		プログラムの概要と音楽領域とのかかわり
初等教育コース	① 初等教育 エキスパート プログラム	このプログラムでは、幼児・児童の成長・発達を視野に入れながら、小学校の各教科内容を丁寧に学び、教科横断的なつながりや、教科外活動について総合的に学びます。音楽領域では、専攻専門(初等教育エキスパート)科目として、「保育内容(音楽・身体総合表現)」があり、幼児・児童の発達と音楽との関係を意識した音楽表現について学びます。 ●卒業要件となる教員免許：小学校教諭 ◆取得しやすい教員免許：幼稚園教諭
	② 小中連携 プログラム	このプログラムでは、小・中学校段階の児童生徒の成長・発達過程とともに、教科の縦断的な連携・接続を意識しながら、小学校教育について学びます。音楽領域では、専攻専門(小中連携)科目として「リコーダー・アンサンブル」があります。 ●卒業要件となる教員免許：小学校教諭 ◆推奨する教員免許：中学校教諭(音楽科)
中等教育コース	③ 中等教育 エキスパート プログラム	このプログラムでは、中等教育段階の生徒の発達と学習を意識しながら、教科の専門性を深めます。中学校・高等学校の教員を目指す人が学ぶコースです。音楽領域では、専攻専門(中等教育エキスパート)科目として「歌唱教材研究」、「鍵盤楽器による中学校音楽科器楽教材開発基礎論」があります。 ●卒業要件となる教員免許：中学校教諭(音楽) ◆推奨する教員免許：高等学校教諭(音楽)

♪ 音楽科教育専攻の活動を一部ご紹介します♪



参加型音楽プログラムを企画・実施します。子どもの発達や特性に配慮しながら、音楽を通して双方向的な関わりを目指します。音楽科教育専攻生と一緒に協力して取り組むプロジェクトです。

小学校や幼稚園、特別支援学校で行う音楽プログラム

能の体験



和歌山県立図書館 エントランスコンサート

地域の芸術振興の一環として和歌山県立図書館と連携し、コンサートを行っています。人前で演奏する経験は勿論、**地域の方々と音楽を通して交流する貴重な機会**になっています。



ランチタイムコンサート

【図画工作科教育専攻／美術科教育専攻】

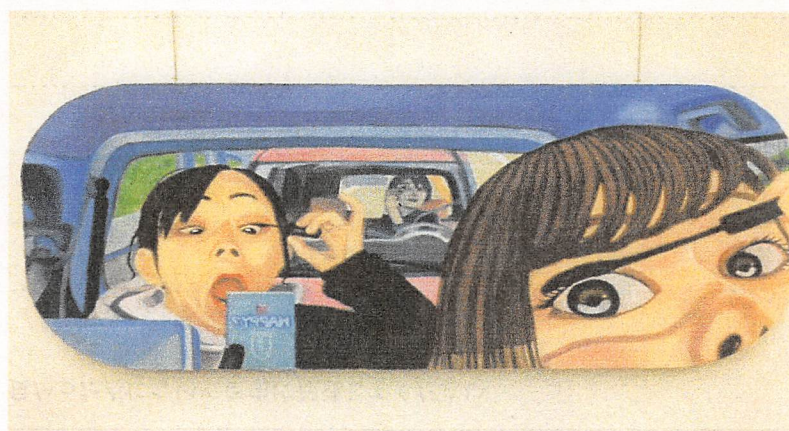
図画工作・美術の広くて自由な世界へ

図画工作科教育専攻／美術科教育専攻では、美術（アート）の自由な精神と方法のなかで、自身の可能性と教育への思いを高めてください。新しいアートと伝統的な美術・工芸、作品制作と理論研究、それぞれは皆さんの思いを高い場所に導いてくれることと思います。

少人数教育のなかで自己実現を

図画工作科教育専攻／美術科教育専攻の授業のほとんどが少人数のクラス。一人ひとりの資質に応じた課題と指導が主体的な美術の学びを支えます。また1年次から卒業研究まで継続するゼミ形式の指導のもと、仲間とともに美術を通じての自己実現を目指します。

和歌山大学教育学部の図画工作科教育専攻／美術科教育専攻では、卒業研究として、論文の執筆（卒業論文）か作品の制作（卒業制作）のいずれかを選択することができ、それぞれの方法で研究を深め、その成果をまとめます。図画工作科教育専攻／美術科教育専攻では、毎年これらの卒業研究の成果を発表する場として、「卒業制作展」を開催しています（展示するのは主に作品ですが、論文の概要をパネルにして展示することもあります）。2019年度の卒業制作展は、和歌山県民文化会館展示室を会場に2020年3月4日（水）～3月9日（月）の日程で開催されました。





Health & Physical Education

【要注意】実技入試以外の人も専攻することができますよ！

たいいく ほけんたいいく 体育 / 保健体育 専攻



小学校教員を志す人こそ、「体育」を専門的に
学んで欲しいのです！ (→「おすすめする理由」)

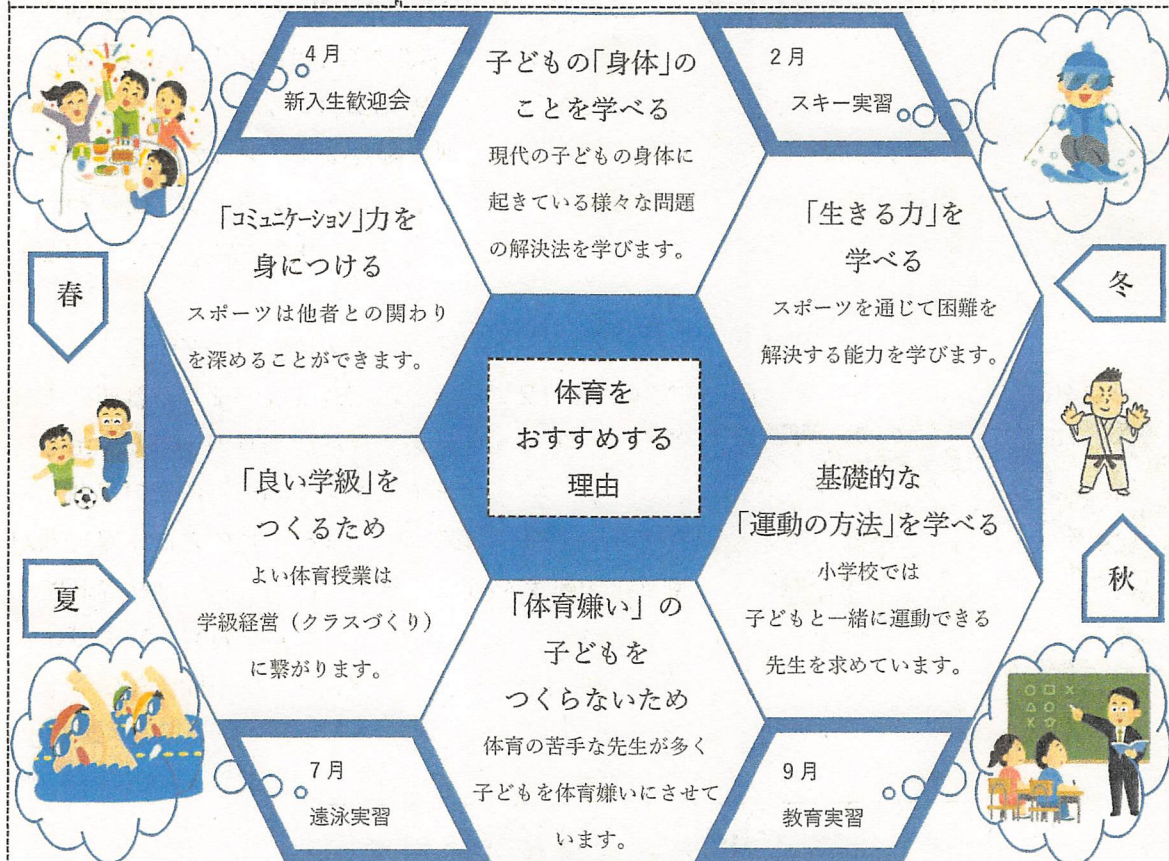
[専任教員] 7名

- 林 修 (はやし おさむ)
- 矢野 勝 (やの すぐる)
- 本山 貢 (もとやま みつぎ)
- 片瀬 美穂子 (かたふち みほこ)
- 村瀬 浩二 (むらせ こうじ)
- 池田 拓人 (いけだ たくと)
- 彦次 佳 (ひこじ けい)

※教員紹介ページをご覧ください

「体育専攻は実技をするだけ」なんて思っていないですか？

[専攻の特色・学べること] 体育専攻では、最新のスポーツ科学を基盤として、健康・体育、スポーツに関する理論について、様々な観点から教育と研究を行っています。実技の習得のみならず、指導方法を学び、「良い指導者」の養成を重視しています。特に「遠泳実習」「スキー実習」では、共同生活における学生の自主的・主体的な取り組みを尊重し、自ら学びながら指導能力を身につけるといシステムが特徴です。こうした取り組みの中で、教員・学生相互の学年を越えた縦のつながりや、学生同士の絆が深くなります。この様に学生と教員のコミュニケーションを密にしたアットホームで充実した学生生活を送ることができると評判です。実技に自信が無い人でも専攻できます。できない人には、できない人の気持ちが分かることに強みがあります。できるまでの過程を楽しみながら学んで下さい。





家庭科教育専攻

担当教員: 今村律子・村田順子・本村めぐみ・山本奈美



家庭科では、私たち
の生活に関連した
幅広い課題を学びます。

生活課題を主体的・
実践的に解決する力
を養う。

- ・「人の一生」と「家族」
- ・「子どもの発達」と「保育」
- ・「高齢者の生活」と「福祉」
- ・「衣生活」、「食生活」、「住生活」
- ・「消費生活」と「環境問題」
- etc...

これらの家庭科分野の学びを通して、私たちは主体的・実践的に問題を解決する能力を養います。家庭科は私たちの日常生活の身近な問題と密接に関わっているのです。体験的・実践的に学びを深め、また科学的な視点から問題を解きほぐし、社会全体の問題や課題を解決していく教科です。

人間の生活は、複合的でいろいろな分野にわたります。とても身近で個人的に思えることも、実は社会全体の問題や課題に繋がっています。

家庭科教育専攻では、それらの多岐にわたる課題を研究するため、文系・理系の教員がそろっています。

家庭科のいいところ！

★校種問わず使える実践力！

家庭科を学んで役に立つのは家庭科の先生になる人だけ…と
思っていませんか？クラス担任になると児童生徒の給食やうがい・手洗いをはじめとする日常生活のことをはじめとして、食育等の指導も必要となります。家庭科ではこのような授業以外での指導力も身に付け、学校現場で発揮することができます！

★小学校・幼稚園免許の取得、
保育士資格の受験を考えて
いる人！

家庭科では乳幼児・福祉・食物・栄養などといった、保育士試験にも役立つ学びがたくさんあります！幼稚園免許に加えて自分で保育士資格をとろうと考えている人には、家庭科での勉強がたいへん役立つと言えるでしょう。

★複数教科・特別支援の免許
取得を考えている人！

和歌山県は小規模校が多い
ため、免許を持った教員の配置
に苦労しています。中学校では
複数教科の免許を持っている
ことが強みになります！また、特別
支援教育には家庭科の知識や
指導法が活かせるんですよ！

おすすめの授業！

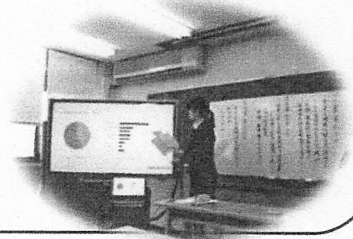
小中連携科目「**教師のための
生活環境学**」(後期 水 1 限)
は、先生になりたい人誰にとつ
ても役に立つはず！

小学校教員を目指している人
は小学校免許科目「**家庭**」
(後期 水 4 限)に加え、初等
教育エキスパート科目「**初等教
育内容論(家庭)**」(前期
木 2 限)がおすすめ！

児童・生徒の学校生活の安全
を考えるのは教師の役目！
家庭科教育専攻の授業では、
学校生活における指導に役立
つ様々な知識を身に付けられま
す。

最近の卒業論文テーマ～家庭科教育専攻ではこんなことが学べます～

- ワイシャツへのアイロンかけについて
- 小学校における環境教育 - 家庭科との関わりに着目する -
- 和歌山大学における新たな不登校予防支援の提案 - 学内での「心理的居場所」と人間関係に着目して -
- 和歌山県小学校家庭科の住居分野における指導の実態と課題を基にした指導内容の提案
- 青年男子の「結婚観」と「家族観」～「主観的幸福感」との関連において～
- 新しい子育て支援のかたち～世代間交流で児童虐待防止を目指す～
- 牛乳アレルギーに対応したカスタードクリームの検討
- ベビーフードに含まれる食材のかたさについて
- 小学校における防災教育の教材開発 - 家庭科とのつながりを考えて -



英語科教育専攻



英語科教育専攻とは？

英語科教育専攻（以後、英語専攻）は、高度な英語力と英語指導力を持ち、グローバルな視野と多様な文化への対応力を備えた学校教員（小・中・高校の教員）の育成を目指します。

英語専攻には、初等教育コース（初等教育エキスパートプログラムと小中連携プログラム）と中等教育コース（中等教育エキスパートプログラム）のどちらからも入ることができます。

外国語として英語を教えるには、英語の運用能力はもちろんのこと、英語指導の理論をもとに実践力を身につけること（英語教育）、英語という言葉（英語学）、英語圏の文化・文学（英文学）に対する専門的な知識と理解が必要です。英語専攻では、これらのことについて深く学べる科目が多数用意され、専攻学生は多様な観点から英語を理論的に研究し、実践力を鍛えています。3年次からは、英語教育、英語学、英文学のいずれかの少人数の演習（通称、ゼミ）に所属し、高度な専門的知識を身につけ、4年次にはゼミ教員の指導下で、4年間の集大成となる卒業論文を執筆します。

英語専攻の特色の1つは、2年次後期から3年次前期かけて、英語力の向上を目的に Comprehensive English Test（通称、コンプリ）を卒業業績の一部として課していることです。すべてのコンプリを卒業までに合格することが求められます。さらに、交換留学制度などを活用して、アメリカやオーストラリアなどで短期・長期の海外留学を行うことも奨励しています。

英語専攻の専任教員と専門分野

教員	専門分野等
今村 隆男	英文学（ロマン派文学、児童文学、風景論など）
尾上 利美	英語科教育（小学校外国語活動、小・中外国語教育など）
西山 淳子	英語学（意味論、語用論、日英対照比較、談話分析）
松山 哲也	英語学（生成文法理論、概念意味論、英文法）

英語専攻の3年間

2年次		3年次		4年次	
4月	専攻決定	4月	第3回コンプリ	4月	卒論テーマ決定
8月	TOEIC-IP	6月	第4回コンプリ	7月～8月	教員採用試験
11月	第1回コンプリ	8月	TOEIC-IP	12月	卒論中間発表会
12月	ゼミ所属決定	9月	教育実習	1月末	卒論提出
1月	第2回コンプリ			2月中旬	卒論口述試験

卒業後の進路

卒業後の進路は小・中・高校の教員を中心に、公務員や民間企業など多彩です。近年では外国語活動が始まっており小学校教員にも、またグローバル化が進む企業でも、高い英語力を持った人材が求められていますので、英語専攻生には大きな可能性が広がっています。

新入生のみなさん、
おめでとうございます！

幼児教育専攻

☆幼児教育専攻って？

幼児期の教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものです。幼稚園では、ただ遊んでいるだけに見える幼児の行動にも、教育的な意味があり、幼児のよりよい発達を促すためには様々な教師の援助や配慮、環境構成が必要になります。そのため、幼児教育専攻では、幼稚園や保育所、こども園などの就学前教育に関わる幼児教育・保育について理論と演習を楽しく学びます。

本専攻は、初等教育コースの「初等エキスパートプログラム」として、小学校を理解する保育者（と幼児教育を理解する小学校教員）の育成を目指しています。少人数の家庭的な雰囲気の中で、教員と学生たちが一緒に相談したり遊びを考えたりして楽しく学んでいます。

免許は、小学校教諭 1 種免許状、幼稚園教諭 1 種免許状を取得します※。子どもが好きで、幼児教育、幼小接続に関心のある人は、一緒に、幼児教育の専門的知見や技術、そして豊かな人間性を培いましょう。

※保育士資格は、取得できません。ただし、国家試験合格に向けて支援を行っており、希望者は全員合格しています！特別支援学校教諭免許状の取得をする学生もいます。



☆何を学ぶの？

そのため、1・2年生で幼児教育の理論を理解する科目、「幼稚園教育課程総論」や「保育内容総論」、発達と援助を理解する「幼児の理解と支援」、1～3年生で実践的な保育内容とその指導に関する保育内容科目（健康、言葉、人間関係、環境、造形表現、音楽表現）等の授業を通して模擬授業を行い、幼児教育に関する専門性を身に付けます。また、幼児期の子どもについての理解を深めることで、スムーズに学びをつなぐ幼小接続について理解を促します。（以上は目安であり、すべて後の学年でも履修可能）



実習は、3年生と4年生で小学校と幼稚園に行きます。また、授業での園見学や訪問、小学校や幼稚園、保育園などで遠足の引率、運動会や生活発表会のお手伝い等、短期や学期ごとのボランティア、



研究会参加の案内なども行っており、大学での理論と実際の幼児に関わって循環的に学びを深めていきます。3・4年生のゼミでは実習や採用試験の支援も行い、学生の夢実現を応援しています。卒論作成に向け、テーマ設定、文献収集、データ収集等を行い、ゼミごとに内容をみんなで検討して協議しながら、卒論を仕上げていきます。